

川越市都市計画マスタープラン見直し意見交換会(霞ヶ関地区)の結果について

〈意見交換会の概要〉

1. 開催日時 令和5年11月8日(水) 午後2時30分～4時00分
2. 開催場所 霞ヶ関公民館
3. 参加者 6名

〈項目別意見と市の考え方〉

いただいた主な意見を次のとおり項目別に分類し、市の考え方を記載しています。

項目1 まちづくりのキャッチフレーズ

No.	意見
1	自然と人 → 豊かな自然と対話する 活力あるまち → 安心して暮らせる

【市の考え方】

本キャッチフレーズについては、平成12年現行マスタープランの策定時に、地域別のまちづくり協議会にて作成されたことを尊重しつつ、ご指摘の点については、「まちづくりの目標」と重複することから、素案のとおり、現行マスタープランを踏襲してまいりたいと考えております。

項目2 まちづくりの目標

No.	意見
1	特になし

項目3 全般的なもの

〈(1)土地利用の方針について〉

No.	意見
1	②の用途地域の見直し等とはどういったことか。

【市の考え方】

第一種低層住居専用地域を広範囲に定めている地域においては、原則住宅しか建築できないため、近隣に店舗が存在せず、日常の買い物機会が十分ではない状況が発生するおそれがあります。このため、地域の意向に応じて、主要な生活道路沿道等において、小規模店舗等の立地を誘導するための用途地域の見直し等を検討するものです。

〈(1)土地利用の方針について〉

No.	意見
1	②について、敷地の細分化防止とはどのようなことか

【市の考え方】

都市計画として、例えば用途地域の指定、建ぺい率や容積率による制限が代表的なものです。これらに追加して、身近な地区単位において地区計画等を策定し、敷地面積の最低限度を定めることにより、敷地の細分化を防止し、将来的に良好な住環境の維持を図ることが考えられます。

〈渋滞について〉

No.	意見
1	20年前と比較すると県道川越日高線((都)笠幡小仙波線)の交通量が増え、渋滞がひどくなっている。

【市の考え方】

地域別構想改定素案〔(2)道路・交通体系の方針等〕において記載しているとおり、都市計画道路等の整備を進めていくととしていますが、ボトルネックとなる交差点改良等の対策を明記することを検討してまいります。

〈交通関係について〉

No.	意見
1	デマンド型交通かわまるについて、バス停に行くことが難しい。他市では、ボランティア団体で自家用車を使って病院などへの送迎を行っている。3地区の区分けを廃止し、川越駅まで送迎できるようにしてもらいたい。ゆくゆくは自宅まで送迎してもらいたい。

【市の考え方】

個別の政策分野に係る検討課題として、検討・対応してまいります。なお、現時点では、デマンド型交通かわまるの中心部への乗り入れや自宅までの運行は、タクシー事業者等の経営への影響を最低限とする観点から、困難なものと考えています。